

買い物弱者支援「ネットのおつかい」開発

代表取締役 矢野肇氏(56)



「商店街がにぎわいの中心となるお手伝いをしたい」と語る矢野肇氏

ジェイ・ジー・エス・オー・デファインド ネットワーク(精華町)

モノを扱う会社がこれまで多くの人手をかけてきた在庫管理の作業は、今やスキャナでバーコードを読み取ることで、スピーディかつ正確に処理できるようになり、作業効率は飛躍的に改善されました。コンビニやスーパーのセルフレジでピットとやるあの仕組みです。当社は、こうした在庫管理の仕組みの構築と、デバイスやシステムのレン

タルサービスを提供していません。レンタルのメリットは多く、初期費用や管理コストが最小限に抑えられ、常に最適条件の機器を利用できるため陳腐化も避けられます。近年、社会課題として買い物弱者問題が顕著になっていまます。経済産業省によると平成28年の時点で700万人いるとも言われています。また、郊外型の大型ショッピングモールの進出により、地域コミュニティの要であった地元スーパーや商店街の経営存続が厳しくなっているところも多くあります。当社は、この2つの課題を解決するために、買い物支援システム「ネットのおつかい」を開

発しました。高額な設備やプログラム開発が不要なクラウド型パッケージプログラムなので、初期導入コストはほとんど必要ありません。QRコード読み取りで簡単に買い物ができる設計と、商店街の買い物代行サービスを組み合わせて自宅まで届ける仕組みで、すぐに運用を開始できます。

買い物弱者支援の施策の多くは、コスト負担と事務処理の負荷でその採算性が問題になっていますが、導入・運用のコスト負担を抑えることで事業収益性を高め、行政支援がなくても地域の要として商店街さんがにぎわいの中心となるお手伝いをしたいと思っています。

京都・大阪・奈良の3府県にまたがる「けいはんな学研都市」。低迷期もあったが、開発開始から30年以上が経過し、150近くの研究機関や企業などが進出、研究者や職員も1万人に迫るまでになった。誘致からイノベーションによる新産業の創出へと、新たな段階を迎えたサイエンスシティの最新情報を、広報紙「けいはんなビュー」と連携し随時お届けする。